

国立大学法人佐賀大学長に求められる資質・能力、重点的取組

平成27年 3月 9日
佐賀大学学長選考会議

佐賀大学は、地域・国際社会に開かれた特色ある教育研究活動や、教育と研究の両面から地域の諸問題に積極的に取り組む社会貢献活動を展開することにより、佐賀の地域に必要とされる「佐賀の大学」として確固たる地位を確立することを目指すべきである。

この目標に向かって着実に歩みを進めていくために、佐賀大学学長は、すべての構成員の英知を結集させ、その総合力を最大限に発揮させることが求められる。

以下、佐賀大学学長に求められる資質・能力及び重点的取組を示す。

1. 求められる資質・能力

- (1) 人格が高潔で、学識が優れ、国際的視野を有し、かつ、佐賀大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者であること
- (2) 社会の変化を的確に捉え、求められる大学像について総合的見地に立って明確な方針（ビジョン）を示すとともに、意欲的な改革に取り組むことができる能力を有する者であること
- (3) 大学運営において、優れた経営能力を有する者であること
- (4) 佐賀大学の最高責任者として教職員を指揮監督する自覚と強力なリーダーシップを有する者であること

2. 佐賀大学が求める重点的取組（佐賀大学改革プランから）

- (1) 学生・卒業生に愛される「面倒見の良い大学」の実現に取り組むこと
- (2) 本学が持つ強み・特色を伸ばすとともに課題解決に努めることで、より一層の社会的役割を果たす機能強化に取り組むこと
- (3) 佐賀の地域に必要とされる「佐賀の大学」を目指すために、COC構想（Center of Community）に重点を置き、改革に取り組むこと
- (4) 教育内容と教育環境の国際化を進め、グローバルな視点をもって地域社会の活性化を担う人材の育成に取り組むこと